

国語科学習指導案

指導教諭

先生

指導者

印

1. 日時 令和6年9月25日(水曜日) 第1時限(8:45~9:30)

2. 学年・組

3. 単元(題材)名 ことわざ・故事成語を使おう

4. 単元(題材)の目標

ことわざや故事成語について意味や使い方を理解し、文や文章を書くことができる。

5. 指導に当たって

(1) 児童観

本学級の児童は、多くの児童が明るく活発である。読書タイムには進んで読書に取り組む児童も多くみられる。その一方で、漫画やイラストが多い本を読んでいる児童もいる。また、読書以外のものに取り組む児童も見られ、読書という言葉に触れられる機会が少ない児童も一定数いる。

自分の考えを上手く伝えることができる児童もいるが、自分の考えを上手く表現できない児童もいる。学習カードやワークシートに自分の考えなどを書き込む児童も増えて来た。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の[読書 伝統的な言語文化に関する事項 イ 長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使うこと]という領域を受けて、設定されている。

ことわざは、昔から使われてきた生活の知恵から生み出された教訓や知識を含んだ短い言葉であり、情報化社会が進む現在においても、ことわざは多くの人に使われている。それは、ことわざの語呂の良さや端的にまとまっていること、そして、真理を巧みに言い表しているものが多く含まれているためである。

ことわざの意味や使い方を知ることで、自分の経験などから情景を想像し、生活と結びつきをもたせることが期待できる教材である。

本教材では、ことわざを集めてその意味や使い方を調べたり、また「ことわざカルタ」で遊んだりする学習活動を通して、伝統的な言語文化に触れさせていき、最終的にはことわざカード・故事成語カードを作成し、ことわざや故事成語の具体的な使える場面を理解できるようにする。ことわざへの関心を高め、先人の知恵や考え方に触れさせると共に、児童自身の言語生活の中に適切に生かせるようにしたい。

(3) 指導観

本単元の指導にあたり、まず「ことわざ一覧」や学習スケジュールを掲示することで見通しを持たせる。

「犬も歩けば棒にあたる」や「矛盾」をはじめとしたことわざや故事成語は、多くの児童にとっては知っていると思われる。だが、「聞いたことはあるが意味や使い方など理解できていない」ものも多くあると思われるため、一時間目では、イラストや漫画を用いて意味や使い方の確認をしたり、穴抜き問題を出すなどしたりして、ことわざや故事成語に親しみを持たせたい。ことわざや故事成語の意味と使い方を確認し、どのような場面で使えるか、具体的に文章に書かせたい。

6. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・表現力・判断力	学びに向かう力・人間性等
・長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り、使っている。	・「書くこと」において、相手の目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・進んで、ことわざや故事成語について理解し、学習課題に沿って文や文章を書こうとしている。

7. 指導計画（全4時間）

次	時数	学習内容	指導・支援	評価規準と評価方法
1	1	・ことわざと故事成語の意味や使い方を知る。 ・穴抜き問題を行う。 ・ことわざに関する動画を視聴する。 ・「さるも木から落ちる」を使った作文と、「五十歩百歩」を使った文章を書く。 ・次回の学習活動を確認する。	・ことわざや故事成語に興味をもちにくい児童には、挿絵や漫画を用いる。 ・児童の様子に合わせて、ヒントを出す。 ・ことわざのイメージを持ちやすくする。 ・自分たちの経験に結び付けて考えられるよう、自分たちが得意なことや上手なことは何か考える時間を設ける。 ・配付したことわざ一覧からことわざカルタを行うことを伝える。	・長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知ることができる。 ・進んで、ことわざや故事成語について理解し、学習課題に沿って文や文章を書こうとしている。

2	1	・ことわざカルタを通し、ことわざに触れる。 ・ことわざ一覧の空欄となっている六つのことわざの意味調を行う。 ・次回の学習活動の確認をする。	・カルタのルールを守るように指導する。 ・国語辞典やインターネットを用いて、調べ活動を行うが、国語辞典を一度は活用するように指導する。 ・国語辞典の使い方を適宜、確認する。 ・早くに意味調べができた児童には、そのことわざを用いた作文をするよう指導する。 ・次回は、自分に身近な故事成語を探し、カードを作成することを伝える。	・長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り、使っている。(ワークシートの内容より評価する) ・進んで、ことわざや故事成語について理解し、学習課題に沿って文や文章を書こうとしている。(ワークシートの内容より評価する)
3	1/2	・故事成語の振り返りと、学習の見通しを立てる。 ・矛盾の由来について知る。 ・故事成語の調べ活動をする。 ・故事成語カードの作成をする。(一枚以上) ・カードの発表・交流 ・次回の学習活動の確認をする。	・故事成語の多くが中国の話がもとであることを確認する。 ・動画を用いながら、由来や意味を確認することで理解度の向上を図る。 ・調べたものは、ワークシートに①ことわざ②意味③文でまとめるよう指導する。 ・作文に預いている児童にはそのことわざの意味を確認しながら、どのような場面で使えるか、具体的な例を示す。 ・早くに完成した児童は、複数枚作成または、その由来を調べる活動を提案する。 ・次回はことわざカードを作成することを伝える。	・「書くこと」において、相手の目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(カードの内容より、評価する) ・長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り、使っている。(ワークシート及びカードの内容より評価する)

	2/2 (本時)	・ことわざの振り返りと学習の見通しを立てる。 ・「さるも木から落ちる」が分かりやすく使われている文章の例文から共通点を探す。 ・「石の上にも三年」の意味や使い方を確認し、自分の経験を主に想像しながら作文をしたり、ことわざカードに記入する。 ・カードの発表・交流 ・これまでの学習の振り返り	・ことわざには、知恵や教えが含まれていることを確認する。 ・意味に合った文章を書くことや最後に「(ことわざ)とはこのことだ」や「まさに、(ことわざ)だ」といった文を書くことで、伝わりやすい文章になることに気付かせる。 ・作文に讀んでいる児童にはそのことわざの意味を確認しながら、どのような場面で使えるか、具体的な例を示す。 ・早くに完成した児童は、複数枚作成または、その由来を調べる活動を提案する。 ・様々な場面で、ことわざが使えることを確認する。 ・ことわざや故事成語が身近にあることや、先人の知恵や考え方が現在にも共通することを気付かせる。	・「書くこと」において、相手の目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(カードの内容より評価する) ・長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り、使っている。(カードの内容より評価する) ・進んで、ことわざについて理解し、学習課題に沿って文や文章を書こうとしている。(ワークシート及びカードの内容より評価する)
--	---------------------	--	---	---

8. 本時の展開 (4/4)

・主題(題材名) ことわざ・故事成語を使おう

・本時の目標 正しくことわざを使い、分かりやすい文章を書くことができる。

学習内容・活動	○主な発問 C:予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ●評価
1. めあてを確認する。		
めあて：分かりやすい文章で、ことわざカードを作ろう！		
2. ことわざとは何かの復習をする。	○「ことわざ」とは何でしたか。 C:短い言葉で、知恵や教えが含まれています。	・ことわざには、知恵や教えを含んでいることを確認する。
3. さるも木から落ちる(ことわざ)が分かりやすく書かれている文章の例文から、ことわざの使い方について考える。	○ことわざを使って作文する時、どのような文にしたら、分かりやすい文になるでしょうか。 C:最後に、「(ことわざ)」とは、このことだ」をつけたら分かりやすいと思います。	・「さるも木から落ちる」の意味も確認する。 ・最後に「(ことわざ)とは、このことだ。」という文をつけることで、ことわざを上手く使えることを確認する。
4. 「石の上にも三年」の意味や使い方を確認し、自分の経験から作文をし、ことわざカードに記入する。	○大変なことを乗り越えた経験はありますか。 C:試合のために毎日、練習をして、勝ったことがあります。 ○もしくは今、何か頑張っていることはありますか。 C:コンクールに向けて、お稽古を頑張っています。	・児童の「言葉の疑問」を適宜説明する。 ・作文に頼っている児童には、ことわざの意味を確認し、どのような場面で使えるか、具体的な例を示す。 ・早くに完成した児童は、複数枚作成または、その由来を調べる活動を提案する。
5. 完成したカードをグループ内・全体交流する。	○完成したカードをグループで紹介しましょう。 C:私は習い事のことで書いたよ。	●正しい文が書けている。 ・同じことわざであっても様々な場面で使えることを確認する。
7. これまでの学習を振り返る。	○今日までの学習で、自分にとって身近なことわざ/故事成語は見つけられましたか。 C:「ちりも積もれば山となる」は、私にとって、習い事の練習のことだなと思いました。	・先人の知恵や考え方が現在にも共通することを気付かせる。 ●ことわざ・故事成語の意味を理解し、使うことができている。

9. 板書計画

ことわざ・故事成語を使う	めあて 分かりやすい文章で ことわざカードを作ろう。	例文 1 例文 2 例文 3	分かりやすい文章にするために	・ことわざの意味に合った文章にする。 ・最後の文は「まさに○○だ」 「○○とはこのことだ」	石の上にも三年	【意味】大変な^{たいへん}ことでも、たえられれば いつかは成功^{せいこう}するということ。 ↓努力は、むくわれるということ
---------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------	--	----------------	--

10. 本時で用いるワークシート

ことわざカード	名前 ()	【ことわざ】	【意味】	【文章】	